

IT経営総研 事業活動状況

「ITC組織立ち上げ地域WS」

2006年9月26日

IT経営総研 CSF

- 1 . 中小公庫や昭和電機様・東海バネ工業様の紹介先に注力し、成功事例を数多く生み出す。
- 2 . 成功事例を広く広報し、認知度を上げる。

経営者研修会

中小企業金融公庫事業

- 開催日 1月28日、2月11日、2月25日
- 会場 リーガロイヤルNCB
- Bグループ担当 参加企業 19社
うち12社にフォローを実施

中小公庫 経営者研修会フォロー

企業名	担当 ITC	支援内容
AN社	榑崎賢吾	経営戦略企画書等の作成についてアドバイス。今後については、基本的には自社だけで取組むことを考えておられるため、適宜状況を把握していく必要がある。
DN社	北口祐規子	本社工場・静岡工場・平塚工場を結ぶ受注～生産システムを構築中。スケジュールの遅れが心配されるので、プロジェクト管理の注意点をアドバイス。
DW社	生田勝	経営戦略策定として常務が作成された原案をもとに質問に対して回答説明を実施し資料(戦略企画書)を完成。社長に同意を得られるかが最大の課題 営業日報にノーツを自社向けにカスタマイズしたシステムを使っているが利用度、メンテナンスの課題有り、又在庫管理も検討課題に成っている。
HD社	吉田東良	社長就任3年目、自分自身のカラーを出していく。店舗在庫を把握、顧客情報の一元管理をしたい。基幹システムは、オフコンベースで、柔軟性に乏しく、困っている。 2007年6月末、オフコンから、パソコンベースのシステムに入れ替えを予定。顧客情報システムを中心としたシステムを拡充する為、入れ替えプロジェクトを発足予定
KM社	岩佐修二	SWOT分析から企画書作成までをアドバイス。現状の経営課題等をヒアリング。
KS社	吉田東良	基幹システムは、動いているが、情報系システム、特に製販の情報共有化が課題。
S B社	堤裕司	現状分析から戦略の絞込みおよび情報化の方針まで、ほぼ企画書が出来ていた。新規事業を進めており、その内容についてのアドバイス。
SI社	岡田修一	社長は経営理念も立派で戦略もしっかり持っておられ、社員のSWOT分析結果を一緒に確認したが、社員さんの思いも社長とほぼ同じで意思統一も図られているようでした。
S S社	岡田修一	製品の紹介や工場ラインの見学をさせていただき、そのあと会社の状況を聞きながら、どういう形で企画書をまとめて行くかについて2時間ほど話をした。
TK社	榑崎賢吾	企画書の作成等をアドバイス。今後については、これからの事業展開のあり方(方向性)について、タイミングよくアドバイスを行うことが効果的と思われる。
TM社	堤裕司	SWOT分析から企画書(案)までの確認とアドバイス。経営課題の絞込みが必要。 目標値設定とターゲット商品へのアドバイス。絞り込んだ目標値を必ず実現するための仕組みを作る。
YT社	北口祐規子	オフコンベースの独自システムを使用。強みのある自社製品があるが納期遅れが常態化しており、現場の生産状況を把握・改善できるシステムの必要性を示唆。

昭和電機 協力会社 研修会

中小企業オーダーマイド情報化事業『経営革新D0IT』

「経営革新D0IT」は、プロジェクトチームを組織して推進します。また集合研修では、学習(学ぶ)し、演習(試す)を行います。その後、IT推進アドバイザー制度を利用し、各企業内で実際の展開(実践する)を行います。

< 注意点 >

- ・「経営革新D0IT」へのお申込は、8月末までに申込書(別途CDに添付)とともに森下までお願いいたします。
- ・「IT推進アドバイザー制度」の利用を行いますので、申込と同時に申請書(CD添付)もメールにてご送付をお願いいたします。
- ・今回の企画は、「戦略情報化企画」のフェーズまでです。これは企業様の成熟度などによって、どの程度進めることが可能か、現時点では判断できないためです。本格的にIT導入を進める時には、個別に派遣ITコーディネータとご相談し個別の契約で進めてください。



協力会社 フォロー

企業名	担当	フォロー内容
Y社	榑崎	生産管理の徹底。 プロジェクト活動「3S」の進行中
TM社	岩佐	家族3名の印刷会社 後継者育成と新ビジネスモデル構築
M社	北口	情報化投資の前の準備中 IT化のテーマ「受注から出荷までを包括する生産計画・工程管理」その前に人材育成
TN社	堤	コスト管理の強化、業務の効率化、社外アピール推進 の計画を推進中

千里の道も一歩から

IT経営総研 森下 勉